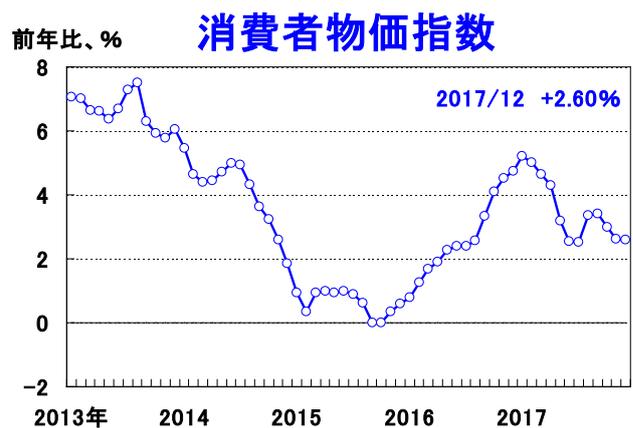
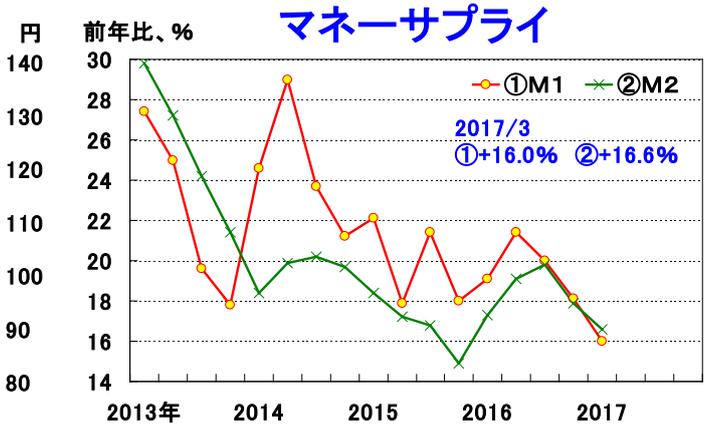
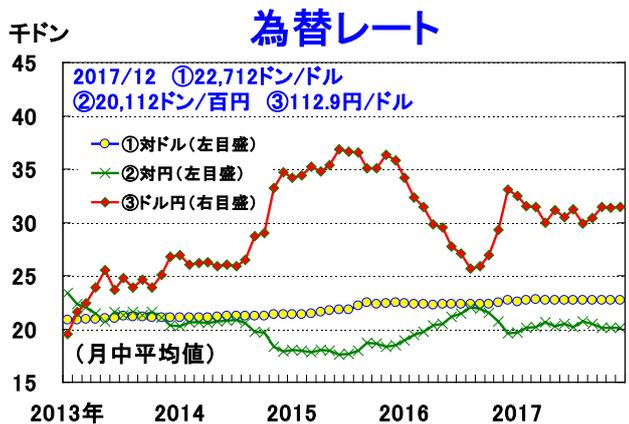
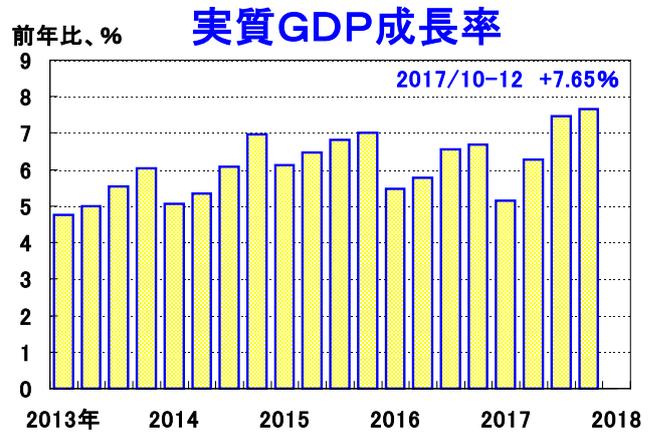
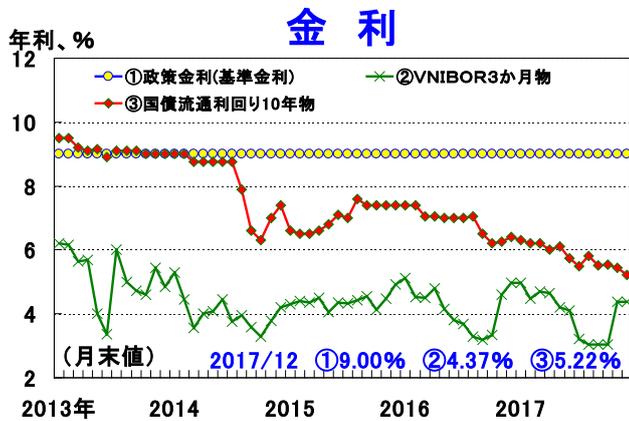


グラフで見るベトナム経済 2018年1月号(No. 96)

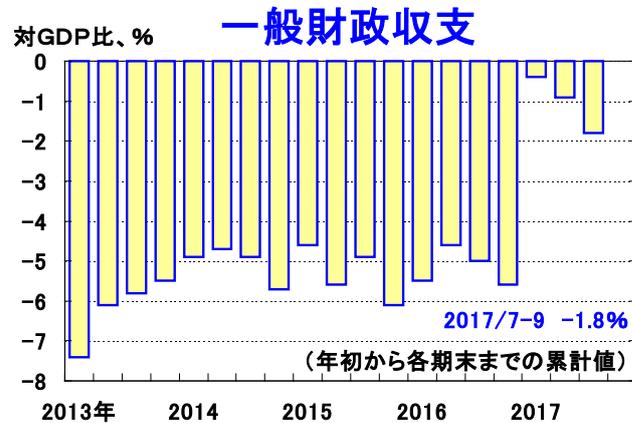
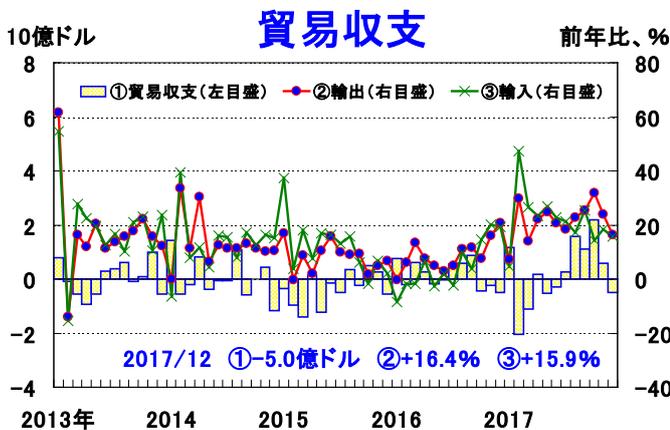
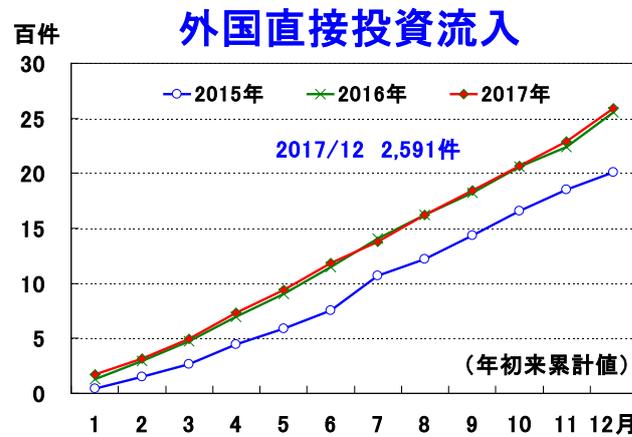
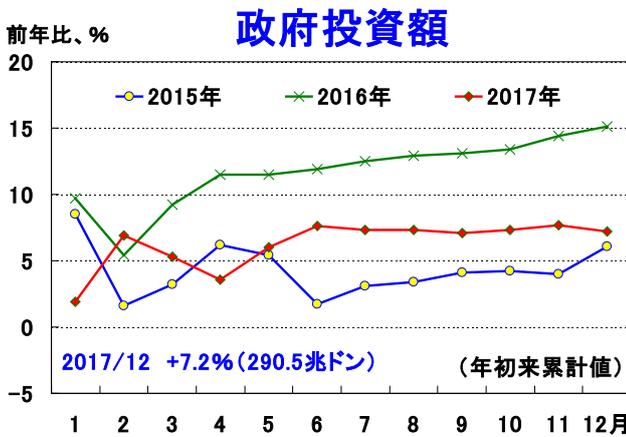
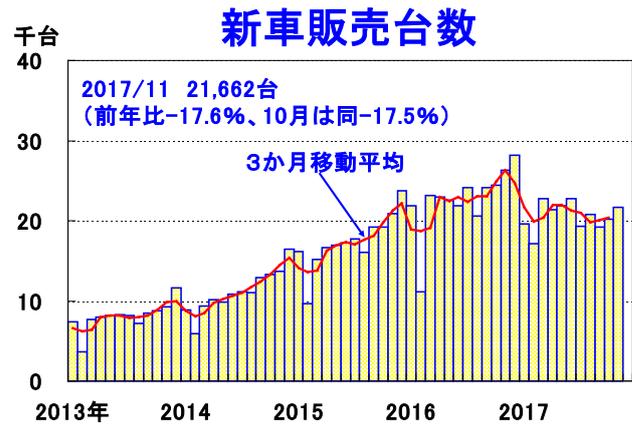
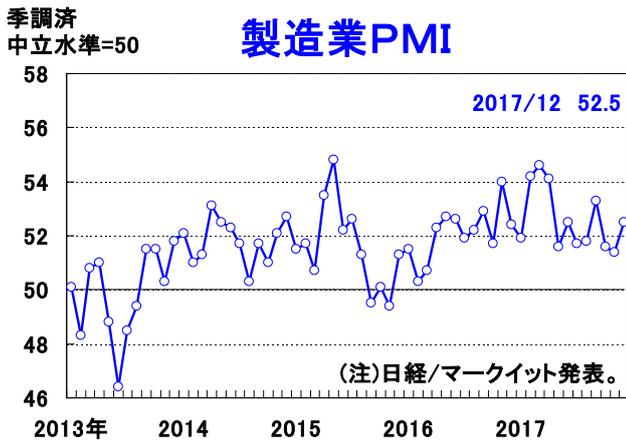
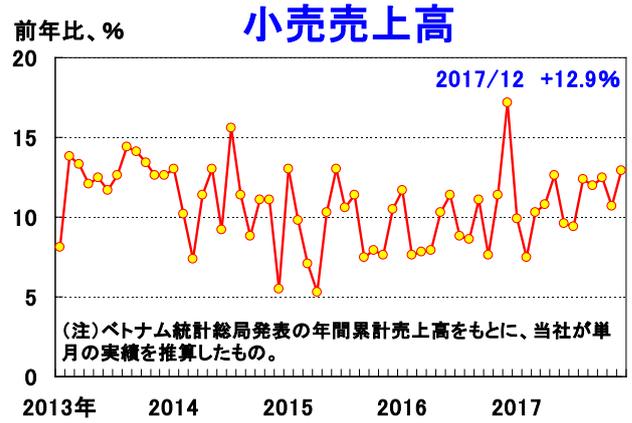
2017年10～12月期の実質GDP(国内総生産)成長率(推定値)は前年比+7.65%と、第4四半期としては10年ぶりの高い伸びを記録した。同期内の月次指標をみると、12月の鉱工業生産は前年比+11.2%と減速したものの、4か月連続で2桁増となった。同月の製造業PMIは52.5(中立水準は50)と3か月ぶりの高水準に達し、製造業景況感の改善を示唆している。内訳では、「生産」と「新規受注」がともに前月を上回った。また、家計部門でも、12月の小売売上が前年比+12.9%(前月は同+10.7%)と1年ぶりの高い伸びとなった。



【今月のトピック:ビール最大手企業の民営化を実施】 ベトナム政府は、国営でビール同国最大手のサイゴンビール・アルコール飲料総公社の株式の約54%を入札により売却した。タイの酒類メーカーのタイ・ビバレッジ系のベトナム・ビバレッジが応札に応じ、売却された株式のほぼ全額を約48億ドルで取得した。政府は国営企業の民営化を進めており、外資によるベトナム市場へのアクセスを促進する効果が期待されている。今回の入札に関しては日本の複数の大手企業も関心を示していたが、入札価格の割高感や外資規制などを考慮し、応札を見送った模様である。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。